

アナリストレポート

緩やかに持ち直している

しがぎん
経済文化センター
(産業・市場調査部)

県内景気天気図

景気全体



生産活動



個人消費



民間設備投資



住宅投資



公共投資



雇用情勢



凡例

- 晴れ 晴れ一部曇り
- 曇り 曇り一部雨
- 雨

前月比

- 上昇・好転 横ばい
- 下降・悪化

県内景気の動向

現状 県内製造業の生産活動を鉱工業生産指数で見ると、前月に比べプラスチック製品やウエイトの高い化学などが上昇したものの、生産用機械や汎用・業務用機械が低下したため、全体では2か月連続の低下となった。ただし、生産用機械は前々月や前月に引き続き極めて高水準を維持している。

需要面を各業態の販売額で見ると、百貨店・スーパーは、ウエイトの高い飲食料品が5か月連続で増加したものの、衣料品や身の回り品、家庭用品、家電機器などほとんどの品目が減少したため、全店ベースでは2か月連続で減少している。ホームセンターは2か月ぶりに減少したものの、ドラッグストアが家計の低価格志向の強まりなどから40か月連続かつ大幅増加しているのをはじめ、家電大型専門店が4か月ぶりに僅かながら増加し、コンビニエンスストアも3か月連続で増加している。これらの結果、小売業6業態計の売上高は2か月連続で増加している。ただし、物価上昇を考慮すると、実質個人消費はこのところ弱含みで推移しているとみられる。また、前年に一部メーカーによる認証不正問題による落ち込みがみられた自動車の販売状況は、軽乗用車の販売台数が6か月ぶりに大幅増加し、乗用車の新車登録台数も2か月ぶりに大幅増加したため、3車種合計は3か月ぶりの大幅増加となった。

投資需要では、民間設備投資の指標である民間非居住用建築物着工床面積は2か月ぶりに大幅減少、新設住宅着工戸数は3か月ぶりに僅かながら増加、公共工事の請負金額は2か月連続で大幅増加している。

このような中、雇用情勢をみると、新規求人倍率は2か月ぶりに大幅低下、有効求人倍率は前月から

京滋の景気動向

京都府・滋賀県の景気は、緩やかに回復している。

個人消費は、緩やかに持ち直している。観光は、増加している。設備投資は、一部で先送りする動きがみられるが、全体としては増加している。住宅投資は、増加傾向にある。公共投資は、高水準で

ら横ばい、就業地別の有効求人倍率も前月から横ばいとなった。また、常用雇用指数は27か月連続で上昇、製造業の所定外労働時間指数も2か月ぶりに上昇した。

これらの状況をまとめると、製造業の生産活動は、生産用機械が高水準を維持しつつも前月からは低下したことなどから、全体では2か月連続の低下となったが、基調としては一進一退の動きが続いている。需要面では、小売業6業態計の売上高が2か月連続の増加となったが、実質個人消費はこのところ弱含みで推移している。投資需要では、民間設備投資が2か月ぶりに大幅減少したものの、住宅投資が3か月ぶりに僅かながら増加し、公共投資も2か月連続で大幅増加している。したがって、県内景気の現状は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

今後の動向 県内製造業の生産活動については、裾野が広い自動車生産の回復などにより緩やかに持ち直していくとみられる。個人消費については、購入頻度の高い食料品やエネルギーなどの価格が高騰している影響で家計の低価格志向が強まっているものの、賃金の上昇傾向が続き所得環境が改善すれば、徐々に持ち直していくとみられる。投資需要については、企業の人手不足を背景とした省力化・省人化投資、デジタル関連の情報化投資、脱炭素に向けた環境対応投資など、将来を見据えた投資の増加が期待される。

したがって、今後の県内景気については、緩やかに持ち直していくとみられる。ただし、トランプ米政権による関税強化などの通商政策により、世界経済の不確実性が強まっていることに注意する必要がある。

推移している。こうした中、生産は、緩やかに持ち直している。また、雇用・所得環境は、緩やかに改善している。

【日本銀行京都支店:「管内金融経済概況」(2025年2月10日発表)より

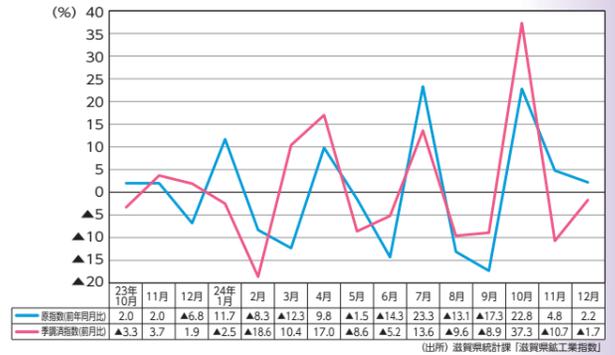
「鉱工業生産指数」の前月比は

2か月連続で低下

- ・鉱工業生産指数(2015年=100)の「原指数」(2024年12月)は109.1、前年同月比+2.2%となり、3か月連続で上昇した。「季節調整済指数」(以下、「季調済指数」)は107.0、前月比▲1.7%で、2か月連続で低下したが、季調済指数の3か月移動平均値(24年12月)は112.5、前月比+5.7%と、10月の単月が大幅なプラスであったため、3か月連続で上昇している。
- ・業種別季調済指数の水準が100の基準を上回ったのは、「生産用機械」(271.6)、「化学」(149.3)などで、一方、下回ったのは、「電子部品・デバイス」(35.7)、「窯業・土石製品」(62.2)、「金属製品」(63.3)など。なお「生産用機械」は前月から低下したものの、10月(428.9)、11月(298.7)に引き続き、高水準を維持している。
- ・前月に比べ高ウエイトで上昇した業種は、「プラスチック製品」(前月比+3.2%、プラスチック製日用雑貨・容器類)や「化学」(同+

2.0%、化粧品)などで、一方、低下したのは、「生産用機械」(同▲9.1%、半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置)や「汎用・業務用機械」(同▲5.8%、運搬装置)などとなっている。

鉱工業生産指数の推移(滋賀県、2015年=100)



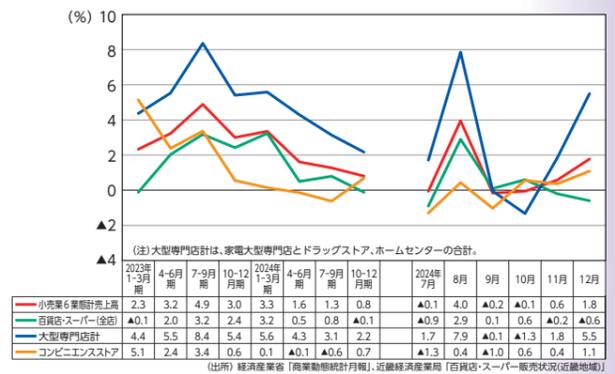
「小売業6業態計売上高」は2か月連続で増加するも

実質個人消費は弱含みで推移

- ・「消費者物価指数(生鮮食品を除く総合/大津市/2020年=100)」(25年1月)は108.5、前年同月比+3.1%、前月比+0.4%となった。前年同月比は39か月連続で上昇している。中分類指数の主な項目をみると、「電気代」(前年同月比+21.6%)、「穀類」(同+16.7%)、「菓子類」(同+11.9%)など、ほとんどの項目で上昇が続いている。
- ・「名目賃金指数(現金給与総額、事業所規模30人以上、2020年=100)」(24年12月)は199.4、同+7.3%と11か月連続で上昇、「実質賃金指数」は181.1、同+3.4%で、2か月ぶりに上昇した。
- ・「百貨店・スーパー販売額(全店ベース=店舗調整前、対象101店舗)」(12月)は、24,778百万円、同▲0.6%と2か月連続で減少した。品目別では、「衣料品」(前年同月比▲8.8%)が4か月連続で減少、「家庭用品」(同▲11.2%)が3か月連続かつ大幅減少、「身の回り品」(同▲12.5%)が6か月連続かつ大幅減少、「家電機器」(同▲8.5%)が3か月連続で減少と、ほとんどの品目が減少したものの、ウエイトの高い「飲食料品」(同+1.3%)が5か月連続で増加している。「既存店ベース(=店舗調整後)」(同+2.8%)は22か月連続で増加している。
- ・大型専門店(全店ベース=店舗調整前)では、「ホームセンター」(12月/68店舗)が3,781百万円、同▲0.6%と、2か月ぶりに減少したものの、「ドラッグストア」(同/258店舗、前年差▲1店舗)が10,693百万円、同+10.3%と、家計の低価格志向の強まりなどから40か月連続かつ大幅増加し、「家電大型専門店」(同/41店舗)が4,507百万円、同+0.3%と、4か月ぶりに僅かながら増加した。また、「コンビニエンスストア」(同/533店舗)は10,399百万円、同+1.1%となり、3か月連続で増加している。

- ・これらの結果、「小売業6業態計売上高」(12月)は54,158百万円、同+1.8%と、2か月連続で増加している。ただし、消費者物価上昇分(帰属家賃を除く総合、12月、前年同月比+3.8%)を考慮すると、実質個人消費はこのところ弱含みで推移しているとみられる。
- ・「乗用車新車登録台数(登録ナンバー別)」(25年1月)については、「普通乗用車(3ナンバー車)」が5か月連続かつ大幅増加し(1,983台、前年同月比+15.3%)、「小型乗用車(5、7ナンバー車)」が3か月ぶりに大幅増加したため(839台、同+13.4%)、2車種合計では2か月ぶりに大幅増加した(2,822台、同+14.7%)。また、「軽乗用車」の販売台数も6か月ぶりに大幅増加した(1,813台、同+20.5%)。これらの結果、3車種の合計は3か月ぶりの大幅増加となった(4,635台、同+16.9%)。ただし、前年同月の一部メーカーの認証不正問題の影響から自動車販売が大きく落ち込んだ時期であり、23年1月比では▲2.9%となっている。

百貨店・スーパー、大型専門店、コンビニエンスストアの小売業6業態別販売額(前年同期(月)比)



「新設住宅着工戸数」は

3か月ぶりに僅かながら増加

- ・「新設住宅着工戸数」(25年1月)は517戸、前年同月比+0.4%となり、3か月ぶりに僅かながら増加した。
- ・利用関係別では、「持家」は208戸、同▲15.4%で、2か月連続かつ大幅減少したが(大津市36戸など)、「貸家」は236戸、同+16.8%で、2か月連続で大幅増加している(大津市78戸、守山市66戸など)。「分譲住宅」は70戸、同+4.5%で、3か月ぶりの増加となり(大津市28戸など)、うち「一戸建て」は70戸となり3か月ぶりに増加(前年差+3戸)、「分譲マンション」は5か月連続で申請がなかった(前年同月も申請なし)。「給与住宅」は3戸。

新設住宅着工戸数の伸び率の推移(利用関係別)(前年同期(月)比)

